



2019.2月号

お母さんによる家庭教師（お勧めの勉強法）

ブログ情熱空間 2014年09月29日より抜粋

（前略）さて、お母さんによる家庭教師開始（笑）です。ここで注意するのは、「小さく丸つけをする」ということです。子ども達は、放っておいたならガンガン先に進もうとするもの。学年が下がるほどにその傾向は強くなりますが、それ、結構マズインですよ。やり方が間違っていてもどんどん進めてしまい、気がついたときにはリターンを余儀なくされることがあるんです。なので、問題の一ブロックが終わるごとに丸をつけ、そうして確認しながら先へ進めることが大切になります。

中にはこうした子もいます。漢字の練習、ある漢字、仮にそれを「仮」にしましょう（笑）。筆順を意識しながら10回繰り返して書くべきを、升目にまずは人偏だけを先に10個書いて、それからつくりの反を10個書いてしまう。いえ、いるんですよ、意外に多く。「困」なんかもそうですよ。国構えを一筆書きで先に10個書いて、そして今度は井の字を中に10個書きちゃう。それ、思いっきりダメダメです。ですから、そうした部分までチェックしてあげることが必要になります。ええ、油断は禁物ということですよ。

ノートに答えを書かせます。字はゆったりと大きく書かせましょう。ノートがもったいないなどとケチってはダメですよ。で、小さく丸つけ。バツだった問題は、間違いを教え、そして再度解かせるようにします。はい、ここで注意です。その際に、間違った答えを消しゴムで消させてはいけません。その横に正しい答えを書かせるようにして、その際の丸つけは、今度は青で行うようにしましょう。はい、一度で正解した問題は赤で丸を、間違っただけの問題は青で丸をつけると、そういうことです。

さて、教材の一単元がそうして終わりました。今度は教材に「○×△印」をつけましょう。一度で正解した問題には○を、解き直して正解した問題には△を、二度以上間違えた問題、理解度がかなり怪しい問題には×印を振っておきます。1週間後、または2週間後に、今度は△と×の問題だけを解かせます。（そのためのノートを別に用意しておいたほうがいいでしょう）それですべて○に変わっていたら問題なし。もし再び間違えるようであれば、そこはきちんと補修しておきましょう。このネット時代ですから、ネット上にその単元の類問がいくらでもあるので、それを利用しない手はありませんよね！

以上が終わったなら、今度は、教材に直接答えを書かせるのを解禁とします。ということはつまり、教材を3回回せるということですね。やりっ放しでメリハリがなければ、そりゃ弱点が見つけれられないことになってしまいます。あれこれと教材に手を出すよりも、こうして1冊を用いてがっちり固めるのがお勧めですね。（後略）

過去問題どうして解くの？

過去問題演習を行う目的はたくさんあります。演習の目的を理解して、意味のある過去問題演習を行いましょう！

【1】志望校の入試問題の出題形式を知ろう

試験時間や問題量、出題傾向などを確認します。特に試験時間は、何分かかったのか記録しておくとよいでしょう。試験時間に対して問題量は多いのか少ないのか、見直しの時間は何分取れるのかなどを考えながら解きましょう。

【2】問題を解く順番やペースをつかもう

入試では、「数学なら計算から解く」や「国語は古典から先に解いて、時間をかけて小説を読む」など、上手に時間配分を行って最後の問題まで解答することが大切です。また、中には超難問も含まれていることがありますので、その問題を解く必要があるかどうか見極めましょう。

【3】自分の課題を見つけよう

過去問題を解くことで、苦手な単元や出題方法をあぶりだすことができます。何ができるようになれば目標点に達するのかを考えながら、演習を進めていきましょう。

受験生へ ~今の時期だからこそ~

受験生に毎年1、2月に話していることです。

- ・受験当日に「今日に向けて本当に頑張った」と自分で自分を褒められるように勉強しなさい。
- ・勉強の不安は、勉強をすることでしか解消できない。やりまくるしかない。
- ・今できる親への感謝の返し方は、行動し、結果につなげること。
- ・自分の持っている力を出し切って合格すること。適当に頑張っただけ合格であれば、その後の人生も適当になる可能性がある。持っている力を出し切って得た合格であれば、その後の人生も力を出し切ることができる。

など、いろいろと話していますが、学習塾講師ということ抜きにしても、子供たちには「1つのことに必死になる」経験をしてほしいと思います。頑張れ！受験生！

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

節分の豆まき

二月の節分の豆まきは、中国の習俗が伝わったとか。豆は「魔滅」に通じ、無病息災を祈る意味があり、昔京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げにより大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できたことから、「魔の目（魔目）」に豆を投げつけて「魔を滅する（魔滅＝まめ）」に通じています。豆まきは、一家の主人または「年男」が豆をまきますが、家族全員でというのが多いようです。家族は自分の数え年の豆を食べると病気にならないと言われていました。ただ、豆まきに使う豆は炒った豆でないといけません。生の豆を使うと拾い忘れた豆から芽が出てしまうと縁起が悪いからです。「炒る」は「射る」にも通じ、鬼や大豆は陰陽五行説の「金」にあたり、「金」の作用を滅し「火」で大豆を炒ることで鬼を封じ込め最後に人間が豆を食べ「鬼退治」をした、となるそうです。

釧路春採SC教室 渡井 学 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

万全の準備で！

受験シーズンも本番！これから国公立大学の2次試験、私立大学入試、何より公立高校、及び私立高校の入試が行われます。受験に向けて準備すべきことは山ほどあり、どれだけ準備(勉強)しても不安は必ず付き纏います。ですが、決して焦らない、自棄にならない、逃げないことを肝に命じ、余計な考えを排除し、ただ一心に勉強に取り組んでください。それが不安を取り除くたった一つの方法です。

不安という心の悲鳴に気を奪われすぎてしまい、体の悲鳴を聞き落してしまうことが間々あります。ここからの1ヶ月は、規則正しい生活と十分な栄養補給を心掛け、身体の悲鳴にも耳を傾け、体調に異変を感じた時は、勉強したい気持ちをぐっと抑え、休養を取ってください。体調を万全にしなければ実力を発揮することが叶いません。その為には、時に休む勇気が必要なこともあることをお忘れなく。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

受験直前・教室の風景

冬休みが終わりましたが、冬期講習と受験生の直前講習が続きます。みんな、本当に集中して学習していると思います。自習室の利用も多く、授業の合間などを利用して学習に励んでいます。その日に授業がない生徒の中にも、自習に来て頑張っている人がいます。教室を運営している側としては嬉しい限りです。授業中の受験生からの質問も日に日にハイレベルなものになってきています。こちらはどうすれば解法に気がついてもらえるか考えながら、ヒントを出して指導しています。問題もどんどん難しくなっていくこの時期、そういう質問が増えていくと、本番も近いんだな、と肌で感じます。みんな、自力で解けなかった問題はきちんと家でもとき直しをしていますね。当たり前のことかもしれないけれど、そういう当たり前の事の積み重ねが、結果につながっていくと思います。あともうひと踏ん張り、頑張りましょうね！

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

それ、法律違反ですよ！

退塾を申し出たところ、「違約金が発生しますので、その全額をお支払いいただくか、契約期間満了までご通塾いただくかのどちらかになります」と言われ、辞めるに辞められず困っている…。最近、その手の話を何度か耳にしました。がしかしそれ、ずばり法律違反ですよ！学習塾は、特定商取引法における特定継続的役務提供に該当します（幼稚園入試や小学校入試は該当せず）。「エステティック、美容医療、語学教室、家庭教師、学習塾、結婚相手紹介サービス、パソコン教室」がそれです。特定継続的役務提供については、1.クーリングオフ。2.サービスを受ける以前の中途解約。3.サービスを開始した後での中途解約。それらの場合のルールが同法により明確に定められています。さて、一番簡単な対処方法です。消費生活センターを利用することですね。十中八九はそれで解決するでしょう。しかしまあ、本当に情けない…。おおよそ人様の子にものを教えさせていただくことを生業にしている者による違法行為。同業として甚だ迷惑です。許せませんね…。

株式会社 情熱空間 代表取締役 三木 克敏